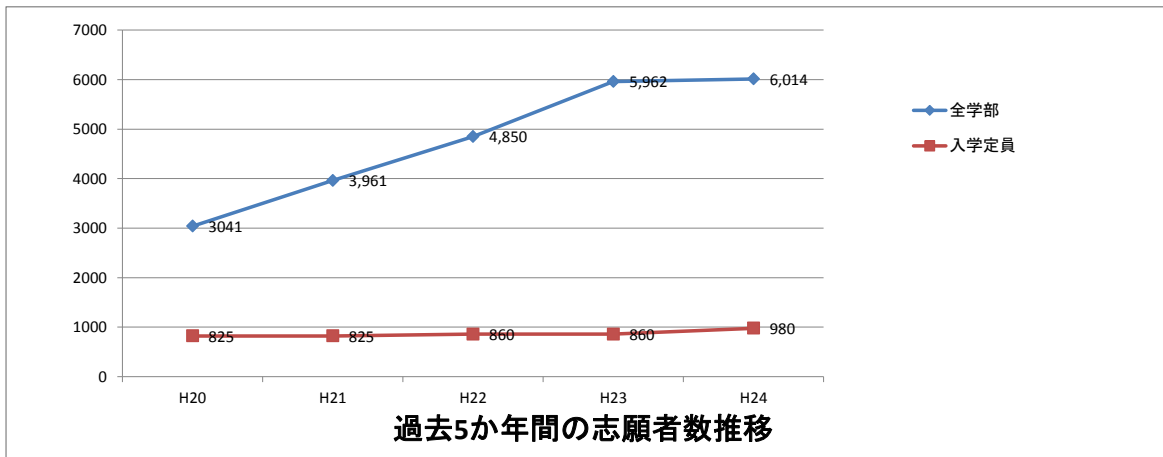
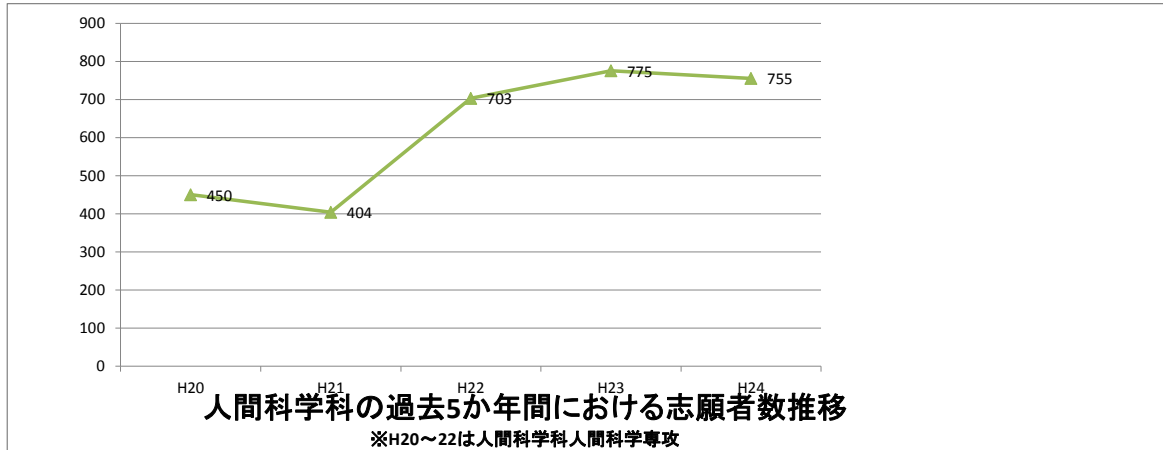


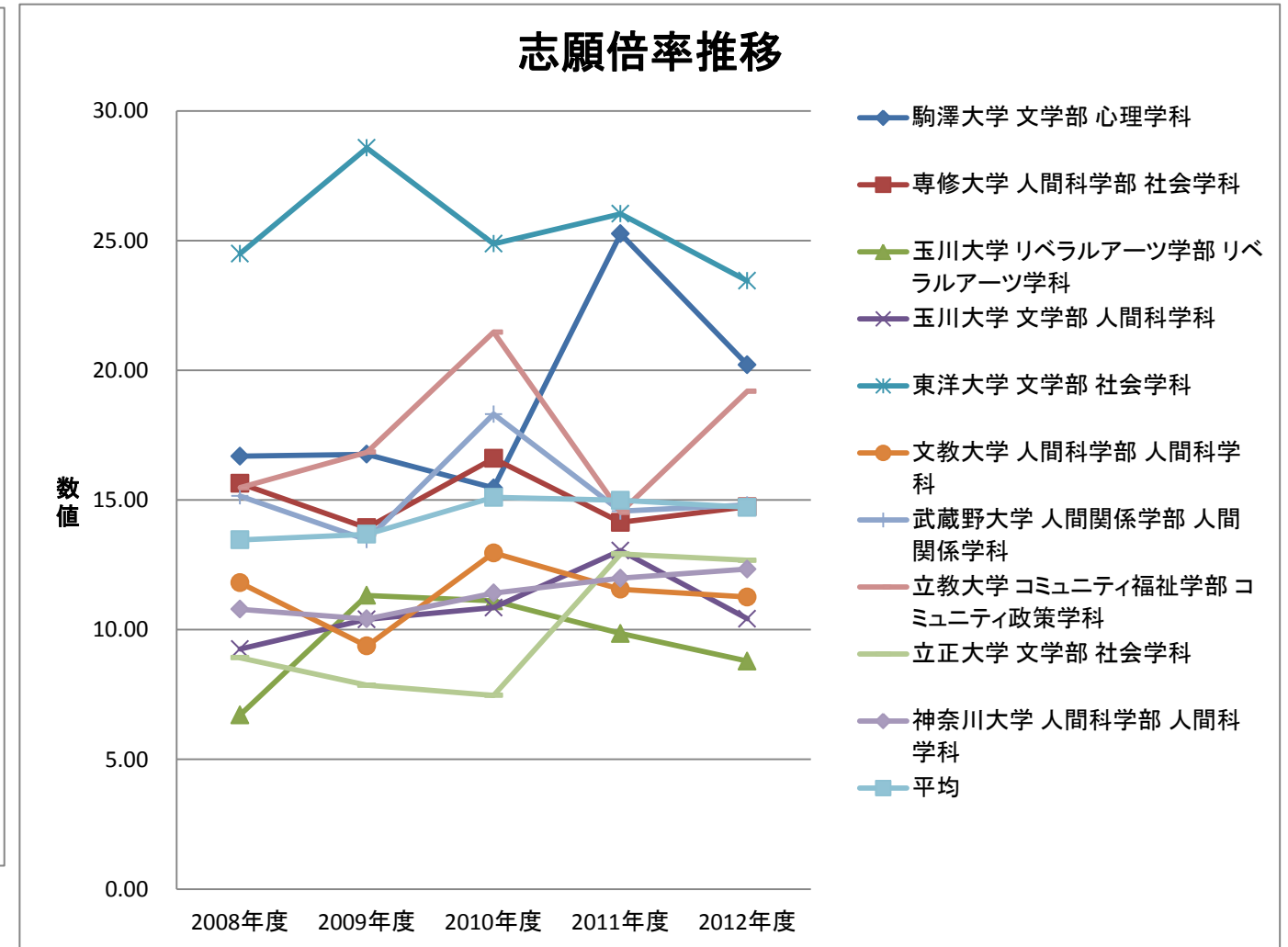
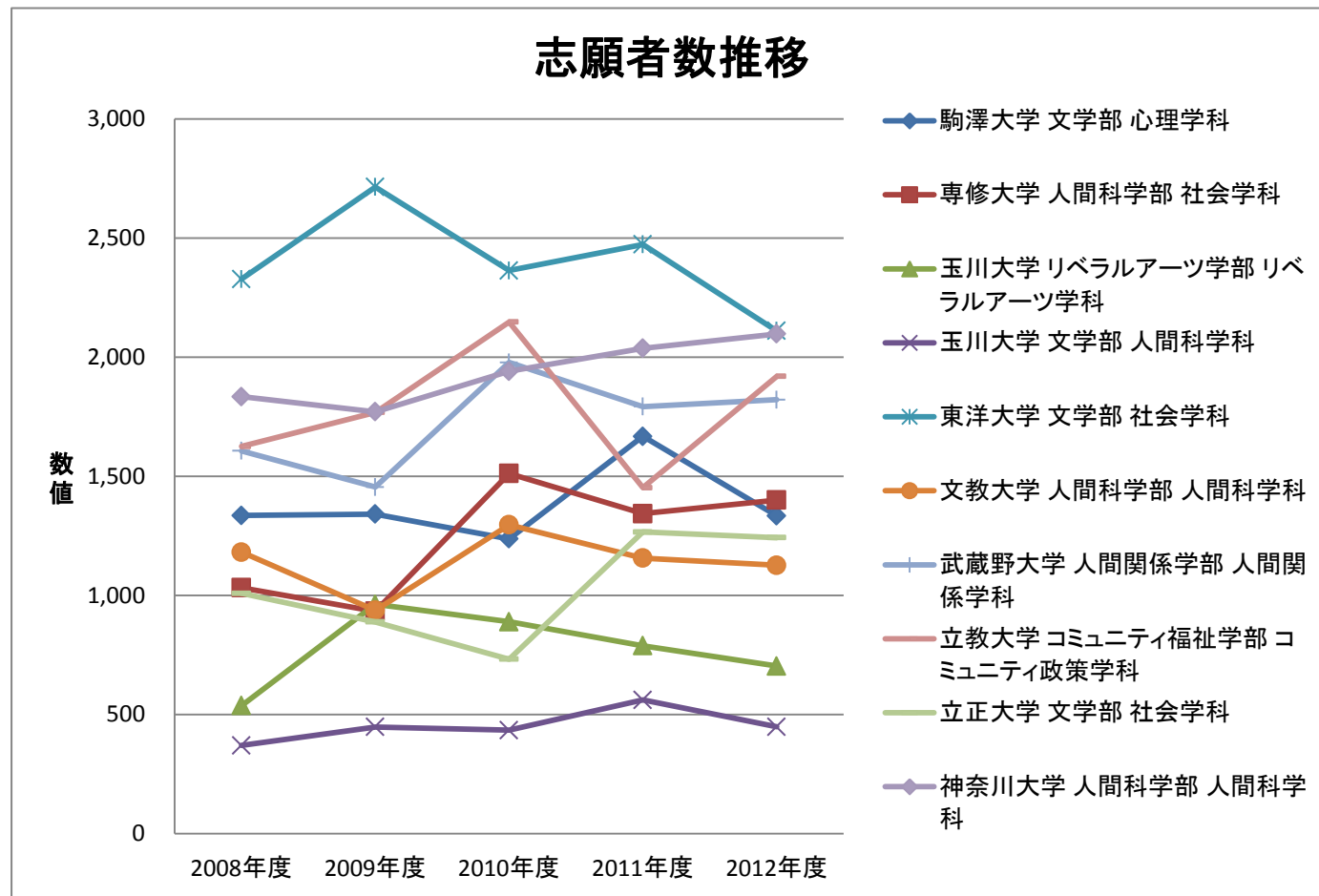
過去5か年間の志願者数、合格者数、入学者数の推移

学科名	H20			H21			H22			H23			H24		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
人間科学科	450	234	135	404	240	131	703	280	125	775	286	132	755	278	125
全学部	3,041	1,730	1,001	3,961	1,751	995	4,850	1,977	1,010	5,962	2,084	1,054	6,014	2,478	1,135



競合大学志願者数・志願倍率推移

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	募集人数	志願者数	志願倍率	募集人数	志願者数	志願倍率	募集人数	志願者数	志願倍率	募集人数	志願者数	志願倍率	募集人数	志願者数	志願倍率
駒澤大学 文学部 心理学科	80	1,335	16.69	80	1,341	16.76	80	1,237	15.4625	66	1,667	25.26	66	1,334	20.21
専修大学 人間科学部 社会学科	66	1,032	15.64	67	933	13.93	91	1,511	16.60	95	1,343	14.14	95	1,400	14.74
玉川大学 リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科	80	537	6.71	85	962	11.32	80	889	11.11	80	788	9.85	80	703	8.79
玉川大学 文学部 人間科学科	40	370	9.25	43	447	10.40	40	434	10.85	43	561	13.05	43	448	10.42
東洋大学 文学部 社会学科	95	2,327	24.49	95	2,714	28.57	95	2,363	24.87	95	2,473	26.03	90	2,110	23.44
文教大学 人間科学部 人間科学科	100	1,181	11.81	100	937	9.37	100	1,296	12.96	100	1,156	11.56	100	1,126	11.26
武蔵野大学 人間関係学部 人間関係学科	106	1,606	15.15	108	1,454	13.46	108	1,977	18.31	123	1,792	14.57	123	1,821	14.80
立教大学 コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	105	1,625	15.48	105	1,768	16.84	100	2,147	21.47	100	1,452	14.52	100	1,919	19.19
立正大学 文学部 社会学科	113	1,008	8.92	113	888	7.86	98	732	7.47	98	1,266	12.92	98	1,242	12.67
神奈川大学 人間科学部 人間科学科	170	1,834	10.79	170	1,770	10.41	170	1,940	11.41	170	2,037	11.98	170	2,097	12.34
総計・平均	955	12,855	13.46	966	13,214	13.68	962	14,526	15.10	970	14,535	14.98	965	14,200	14.72



注1: 本データは各大学の一般入試・大学入試センター試験利用入試の各年度の募集人員合計に対する志願者計である。

注2: 本データは代々木ゼミナール入試情報・私立大学の出願結果より、作成したものである。

産業界の求める人材像と大学教育への期待  
に関するアンケート結果

2011年1月18日

(社) 日本経済団体連合会

# 目 次

---

---

	ページ
アンケート概要 .....	3～4
集計結果	
第Ⅰ部：グローバル人材の姿、グローバル人材育成に向けた取り組み	
1. 海外展開の有無と人事戦略の方向性 .....	5
2. グローバルに活躍する日本人材に求められる素質、 知識・能力 .....	6～7
3. 外国人材の採用に向けた取り組み .....	7～12
4. グローバル人材の育成と定着・活用に向けた取り組み .....	13～14
5. グローバル人材育成に向けて、大学に優先的に取り組んでほしい こと .....	14～15
第Ⅱ部：大学生に求められる職業意識や知識・能力・素質等	
1. 大学生の採用に当たって重視する素質・態度、知識・能力 .....	16～17
2. 文科系、技術系・理科系の大学生・大学院生を採用する立場から、 大学教育に期待するもの .....	17～18
3. 人材育成に向けた産業界と大学の連携 .....	19～22

## <アンケート概要>

### 〔調査目的〕

- (1)企業の求めるグローバル人材の素質、能力。グローバル人材育成に向けて大学や企業に求められる取り組み
- (2)大学生が社会に出るまでに身につけるべき知識、能力や職業意識
- (3)人材育成に関して大学と企業間で協力可能な取り組み

\*本アンケートにおけるグローバル人材とは、企業の事業活動のグローバル化を担い、グローバル・ビジネスにおいて活躍できる日本人及び外国人の人材とする。

### 〔調査対象〕

日本経団連会員企業 1, 283社、地方別経済団体加盟企業（非会員）

### 〔実施期間〕

2010年9月15日～11月1日

### 〔回答数〕 596社

一内 訳一

◆ 経団連会員企業：310社（回答率：24%）

### <回答企業のプロフィール>

（国内単体の従業員数）

従業員数	～300名	300～500名	500～1000名	1000～2000名
社数 22	社	16社	35社	69社

2000～5000名	5千～1万名	1万～3万名	3万名以上	N/A
77社	36社	29社	9社	17社

（業種）

建設・土木 (21社)	化学・薬品 (39社)	鉄・非鉄金属 (15社)	輸送機器・部品 (24社)
一般機械製造 (14社)	電機・精密機械 (32社)	その他製造業 (12社)	商社・卸売・小売 (24社)
運輸・倉庫 (15社)	銀行・保険・証券 (33社)	サービス業 (22社)	食品 (9社)
石油・石炭・ゴム (8社)	不動産 (8社)	電気・ガス・水道 (8社)	その他 (26社)

◆ 非経団連会員企業：286社

- ・以下の各都道府県の30の地方別経済団体に加盟する非経団連会員企業  
 北海道、青森、山形、宮城、新潟、富山、群馬、栃木、茨城、山梨、  
 埼玉、東京、神奈川、静岡、長野、愛知、石川、三重、奈良、京都、  
 大阪、兵庫、広島、愛媛、香川、高知、福岡、長崎、熊本、宮崎

<回答企業のプロフィール>

(国内単体の従業員数)

従業員数	～50名	50～300名	300～500名	500～1000名
社数	11社	117社	53社	61社

1000～2000名	2000～5000名	5000人以上	N/A
21社	11社	7社	5社

(業種)

建設・土木 (17社)	化学・薬品 (8社)	鉄・非鉄金属 (13社)	輸送機器・部品 (19社)
一般機械製造 (25社)	電機・精密機械 (36社)	その他製造業 (22社)	商社・卸売・小売 (37社)
運輸・倉庫 (13社)	銀行・保険・ 証券 (17社)	サービス業 (31社)	食品 (10社)
石油・石炭・ゴム (4社)	不動産 (1社)	電気・ガス・水道 (3社)	その他 (30社)



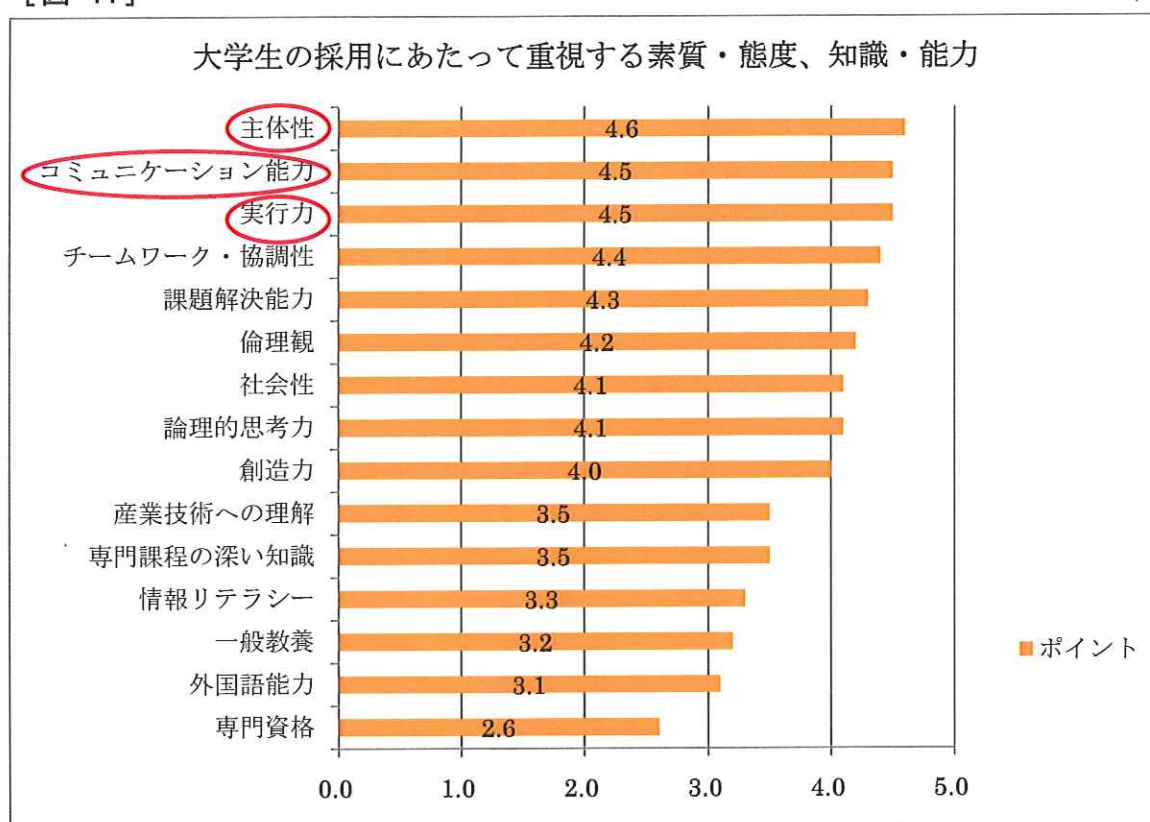
## 第Ⅱ部：大学生に求められる職業意識や知識・能力・素質等

### 1. 大学生の採用に当たって重視する素質・態度、知識・能力 [図 11]

大学生の採用に際して、「非常に重視する」との回答が多かったのは「主体性」(5点満点で4.6点)、「コミュニケーション能力」(4.5点)、「実行力」(4.5点)、「チームワーク・協調性」(4.4点)で、経団連が過去に実施したアンケート調査と同様の傾向が確認された。他方、下位になったのは「情報リテラシー」(3.3点)、「一般教養」(3.2点)「外国語能力」(3.1点)、「専門資格」(2.6点)であった。

[図 11]

n=594 社



[非常に重視する=5ポイント、重視する=4ポイント、普通で良い=3ポイント、余り重視しない=2ポイント、重視しない=1ポイントで計算]

### (最近の大学生に不足していると思われる素質・態度、能力・知識) [表 3]

一方、最近の大学生に不足していると思われる素質・態度に関しては「主体性」を挙げる回答が最も多く(523社)、「職業観」(361社)、「実行力」(322社)が続いた。

最近の大学生に不足していると思われる能力・知識については、「創造力」を挙げる回答が最も多く(407社)、「産業技術への理解」(396社)、「コミ

コミュニケーション能力」(346社)が続いた。

企業は重視しているコミュニケーション能力については、企業の学生に対する評価が低いことが確認された。

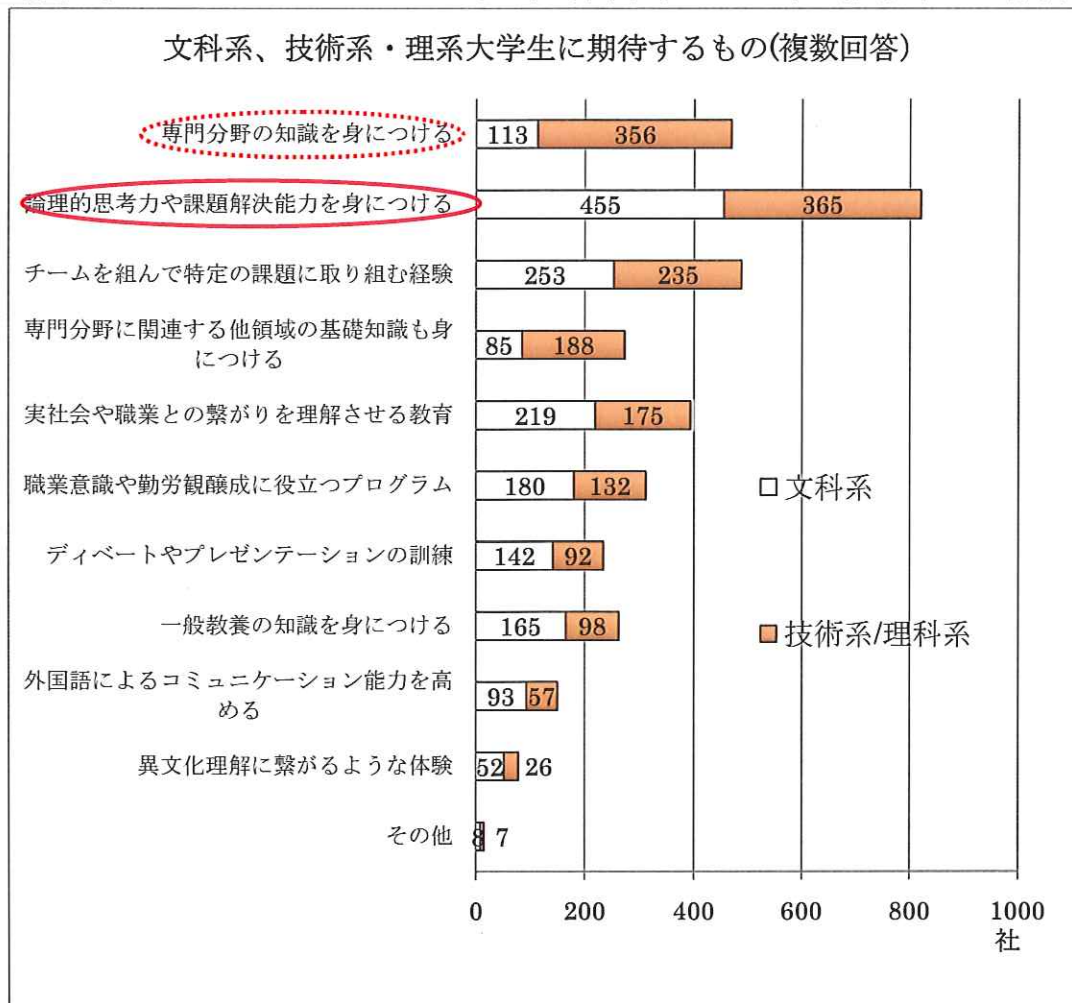
[表3]最近の大学生に不足していると思われる素質・態度、知識・能力

	第1位	第2位	第3位
素質・態度	主体性 / 523 社	職業観 / 361 社	実行力 / 322 社
知識・能力	創造力 / 407 社	産業技術への理解 / 396 社	コミュニケーション能力 / 346 社

## 2. 文科系、技術系・理科系の大学生・大学院生を採用する立場から、大学教育に期待するもの [図12]

文科系・理科系を問わず、「論理的思考力や課題解決能力を身につけさせる」「チームを組んで特定の課題に取り組む経験をさせる」「実社会や職業との繋がりを理解させるような教育」を指摘する回答が多かった。

[図12] n=592社(文科系)、n=580社(技術系・理科系)





他方、技術系・理科系では、「専門分野の知識を身につけさせる」「専門分野に関連する他領域の基礎知識も身につけさせる」を指摘する回答が多く、文科系と比べて、大学教育を通じて専門分野や専門関連分野の知識を習得することへの期待が高いことが確認された。

**(教育改革に向けて大学に期待する取り組み) [図 13]**

大学教育改革に向けて、現在、提案されている取り組みの内、大学に取り組みを強化して欲しいと思うものとしては、「教育方法の改善（双方向型、学生参加型、体験活動を含む多様な授業の実施等）」を挙げる回答が最も多く（440社）、「大学教員の教育力向上に向けた取り組みの強化」（261社）、「ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントによる双方向型授業、少人数指導の徹底」（206社）が続いた。

その他では、「AO入試の廃止」「民間からの積極的な教員登用と処遇」「きちんとした日本語、文章力等の基本的教育の充実」等があった。

[図 13]

n=575 社

